

留萌市議会・ラジオ放送のアンケート結果

・質問1 一般質問の放送をエフエムもえるで聞いたことがありますか？



【聞いたことがあると回答した方(65人)へ】

・質問2 一般質問開催日の夜間の放送について



・質問3 聞きやすい放送の日程について



・質問4 放送時間の長さについて



今回のアンケート結果については、今後の活動の参考にさせていただきます。貴重なご意見とアンケートにご協力いただきましたことを感謝いたします。

アンケートに寄せられた自由回答から市民の皆さんの声をご紹介します (一部抜粋)

【ラジオについて】

- ラジオ放送を続けた方が良いという声
 - ・放送を楽しみにしている人もいるだろうから、続けた方が良いのではないかな。
 - ・エフエムもえるでの議会放送は続けてほしい。たまに聞くとほっとする。
- 放送時間の変更・編集を望む声
 - ・長いので検討するべきだ。
 - ・前もって質問しているのだから、もっと放送時間を短くしてほしい。
 - ・昼間は他局のラジオ、夜はテレビを見ている。平日日中が聞きやすい。
- ラジオ放送はやめた方がよい・関心が無いという声
 - ・放送は知っているが、聞く時間が無い。
 - ・ラジオ放送はやめた方がよい。

【ラジオ以外の要望など】

- 議会への要望

- ・ユーストリーム動画などを取り入れてはどうか。「聞く人が少ないから意味が無い」のではなく、市民の意見を生かして、より多くの人に知ってもらえるように取り組んでほしい。
- ・一般質問のテーマがほかの議員とダブっていることが多い。勉強不足ではないのか。町内会を回って現状を勉強してほしい。
- 市への要望・意見
 - ・福祉にかかる費用を安くしてほしい。
 - ・商店街はシャッターが閉まり留萌のまちが暗くなりつつある。みんなで明るいまちにしたいと思っている。
 - ・障がい者の自立支援にもっと取り組んでほしい。
- その他
 - ・要望を出しても無理だと思う。関心が無いので広報もあまり読んでいない。
 - ・新聞で議会の情報を確認している。

もくじ

- P14~15 特集 議会活性化の取り組み
- P16~18 第2回定例会一般質問項目ほか
- P19 議会活性化推進特別委員会からの報告 ほか
- P20 留萌市議会議員出欠状況
- P21 各常任委員会からの報告
こんなことが決まりました

議会です こんにちは

特集 議会活性化の取り組み

議会活性化推進特別委員会は、昨年度、本会議における一般質問の録音放送の実施について、市民の皆さんにまちなかアンケートを行いました。その結果を踏まえ、エフエムもえるによる一般質問の録音放送を開始したところ、放送時間や質問時間などについて、多くのご意見をいただきました。そこで昨年に続き、市民の皆さんに平成26年度の放送について、まちなかアンケートを行いました。

質問項目のみならず、多くのご意見をいただきましたので、抜粋ではありますが市民の皆さんの声として掲載いたします。

アンケートの結果として、「現状でよい」というご意見が60%を超え、昨年に引き続き、夜間の放送となりました。

アンケートに寄せられた声の中には、「ラジオ放送は良いことだと思う」「短く編集してほしい」「エフエムもえるを聞く人を増やしたほうがよい」「ラジオ放送はやめたほうがよい」などの声がありました。

また、聞きやすい放送時間についての質問では、「平日日中」の放送を希望される方が43%、「週末」の放送を希望の方が31%と、放送日程を大きく変えるには決めかねる結果となりました。

議会活性化の推進の一環としての放送がこれだけで良いのか、という議論が議会内にもあることから、今後も市民の皆さんのご意見をいただきながら取り組んでいきます。

まちなかアンケート調査

- 調査期間 4月23日(水)~26日(土)
- 調査場所 Aコープるもいルピナス、チューオー本店、コープさっぽろ留萌店、ホームック留萌店
- 質問項目
 - ・質問1 一般質問の放送をエフエムもえるで聞いたことがありますか？
【聞いたことがあると回答した方へ】
 - ・質問2 一般質問開催日の夜間の放送について
 - ・質問3 聞きやすい放送の日程について
 - ・質問4 放送時間の長さについて
- 回答者の属性
 - 性別 男性 131人、女性 178人
 - 年代 10代 3人、20~30代 22人
40~50代 94人、60代以上 190人

平成26年第2回定例会

「股質問と答弁を」
ご紹介いたします

燕 昌克 議員
(萌政会)

一、攻めの農林水産業
二、成長産業としての観光産業
問一 高橋市長が所信表明で掲げた営業する市役所は、さまざまな課題解決のために市役所が行動する、そして地産外商を進めることが留萌経済の発展につながるとしているが、農工商連携や六次産業の推進、林業の成長産業化を進めるうえで留萌市としての役割をどのように考えているのか伺いたい。

答一 留萌市は海と山に囲まれ、少量多品目であるが一次産品が豊かなマチである。今までは留萌で生産された物産を、その土地で消費する地産地消を進めてきたが、これからは地域を飛び越え、首都圏などの消費地や海外で物産が消費されることを目指し、



▲製造ラインを整備する旧幌糠中学校

留萌観光協会をはじめ、関係団体・企業との連携により留萌を積極的にPRしていきたい。風土工房こさえるに設置した乾燥機を使った切干大根が好評のため、旧幌糠中学校に製造ラインを整備し、実証試験を進め、安定した生産体制の構築と新たな商品開発に向けた取り組みを行い、二、三年後を目途に、独立した事業体を起ち上げ、事業化を目指していきたい。

適齢を迎えた間伐材が今後三年間で約九万本の原木とし

て発生する予定であり、留萌港の原木の輸出を推進しながら、木材流通や有効な利活用の研究を進めていきたい。

問二 定住人口が減少傾向にある地方では、観光客や二地域居住者といった交流人口を拡大させることで、人口減少の影響を緩和し、地域の活力を取り戻そうとする動きが広がっている。交流人口拡大をどのように考えているか伺いたい。

答二 昨年度、北海道移住促進協議会に加盟したが、まだ具体的な取り組みは行っていない。今回スポーツ合宿のモデル事業を実施し、将来に向けた合宿誘致の可能性を研究し、二地域移住などについては、情報収集や研究を進め、留萌地域の食などの地域資源を活用した体験観光などにより、交流人口の拡大を図りたい。また、あさひかわ観光誘致宣伝協議会に新規加盟したことにより、外国人観光客誘致に向けた事業の検討をしている。

坂本 茂 議員
(無会派)

一、地域経済の循環と活性化

薬品の利用促進については、平成三十年度中に六十%に到達させるという厚労省の目標に向けて取り組みたい。
短期保険証については、納税相談に応じられない人については、窓口で保管せざるを得ない。今後、個々の生活実態を確認しながら、きめ細かな対応に努めたい。

川口 宏和 議員
(萌芽クラブ)

一、今後の地域経済の活性化に向けて
二、これからの地域公共交通について

問一 経済を発展させるためには若年層の確保が重要な問題だ。多くの市町村が抱える人口減少という大きな問題の共通点として、若い世代の人口流出があげられる。

地域経済を支えていくのは今後数十年にわたり、納税していく二十代から四十代の子育て世代である。この世代が留萌市から流出するのを防ぐための施策について聞きたい。

答一 若年層の流出について、留萌市では定住促進などを目的とした緊急雇用対策事業、未就労者、未就職の人た

ちを支援する新規卒業生就職支援事業など、さまざまな国の制度を活用しながら雇用の場を創出する事業に取り組んでいる。
問二 日東団地線の運行により、気軽に病院や買い物に行けなかった多くの市民の足となることができた。しかし留萌市における公共交通空白地域はまだあり、全ての地域をカバーできているわけではないと考えている。これから先の五年後、十年後のことを考えると、今は元気に自分で車を運転している方も、年齢を重ねると困難になり、今以上に多くの交通弱者が増える可能性が高いため、高齢者の多くは公共交通に対し、より利便性を求めるようになる。これからより一層市民の皆さんと意見を交換して市民サービスを拡大し、留萌市に住んでいてよかった、これからも住み続けたいと思える人たちの増やすことが必要だ。今後、家の前まで迎えに来るデマンドバスを導入する考えがあるか聞きたい。

答二 日東団地線は、平成二十三年十月から沿岸バスにより本格運行している。公共



▲日東団地を走るコミュニティバス

交通空白地域については元町、春日町、泉町、千鳥町方面としているが、実証運行の結果を受け、現状では本格運行に必要な利用が見込めないと判断した。デマンド交通の導入には運行方式や運行ダイヤ、システム導入の有無などの点から、どのような形で導入することが効果的なのか十分な研究が必要と考えている。

野崎 良夫 議員
(無会派)

一、人口減少傾向について
二、再生可能エネルギー事業について

問一 昨年三月、国立社会保険人口問題研究所が公表した日本の地域別将来推計人口の中に、七年後には留萌市の人口が二万人を割るとい

について

問二 国民健康保険について
問一 このほど、留萌管内で伐り出されたトドマツが中国・韓国に向け初めて輸出された。輸出先での利用目的と今後の見通しを伺いたい。

さらに、地域の木材の地元での利活用を進め、域内での経済循環を促進するための助成制度創設や地域の木材利活用を話し合うシンポジウムを開くことについてはどうか。

答一 中国に輸出したのはトドマツで、林齢は不明だが材長三・六五メートル、径が十六センチメートル以下のC材(パルプ用材)で、古丹別産三割と他道内産合わせて二千二百五十立方メートル。用途の七、八割はリフト用パレット材であり、今後も輸出を予定している。韓国に輸出したのは林齢三十六から五十七年生、材長三・六五メートル、径十八センチメートル以上、A材(一般材)とB材(合板用など)の混材。主に型枠用材木(さんぎ)として利用されている。集材材・合板材料としての活用も視野に、現状としては輸出を考えていきたい。



▲留萌港に堆積された原木

「シンポジウム開催」については、林産業の新たな振興に向け、地域の皆さんや企業の皆さんと共有を図るため、留萌振興局とも連携しながら進めていきたい。

問二 国民健康保険の医療費を引き下げるため、国保加入者の健康増進を第一に、特定健診受診率・ジェネリック医薬品の利用率向上を目指し、数値目標を引き上げるべきではないか。また、国民健康保険未納を理由に発行している「短期保険証」を、「納税相談に来るのを待つ」として、市役所の窓口止め置く状態を改善する必要があるのではないか。

答二 特定健診の受診率向上に向けては、元看護師の直接的指導の力も借り、引き続き努力したい。ジェネリック医



▲注目が高まる再生可能エネルギー

ショックな数値が示された。人口減少がいよいよ本格化してきたことに対し、現状と課題についてしっかりとした分析が必要である。そのうえで、今後どのような具体的施策を打ち出していくのか伺いたい。
答一 人口は昭和四十二年の四万二千四百六十九人をピークに毎年減少し、過去十年の状況は毎年約四百人から五百人ずつ、ほぼ一定して減っている。人口の減少と比較して、世帯数の減少が穏やかであると認識している。今後も人口減少の現状を把握しながら、地域の自立を図るため、人口の定着と雇用の増加を図る施策を実施していきたい。

問二 環境に対する意識の高まりや、東日本大震災による環境エネルギー問題をきっかけに「再生可能エネルギー」への注目が高まってきているが、事業推進における自治体の役割は何なのか、また、風力、太陽光、地熱、小水力、バイオマスなど、再生可能エネルギー事業が再確認され、その事業が地域経済の活性化に資することから、留萌市として、今後の展望について伺

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

一、公共施設の安全管理と整備計画
二、学校給食について

問一 公共施設の老朽化現況調査は行っているのか。公共施設の総合管理計画策定が必要である。各施設の安全チェックと修繕や更新の判断

基準についての考え方を伺いたい。

スポーツセンターの床板の整備が急がれる。建設から四十年以上経過している留萌市中央公民館とスポーツセンターの建て替えも視野に入れた整備方針を伺いたい。



▲留萌市中央公民館

【答一】留萌市の公共施設五百五十五施設は、全て台帳管理している。鉄筋コンクリート造り五十平方メートル以上の三十七個所の現地調査を行っている。北海道の「建築物保全支援ツール」を参考に、公共施設総合管理計画策定に向け取り組みを行う。施設の保守管理の手引と建築物等保全マニュアルを作成した。施設管理者へ周知するための勉強会を実施したい。スポーツセンターの整備

は、大体育館床面の改修について、部分改修か研磨改修にするか方法を早急に決定し、早期着工に努めたい。

体育・文化施設の中・長期的な整備計画は、建て替えも視野に入れて協議検討を進め、各種団体などと意見交換を行いながら、早い時期に作成したい。

【問二】学校給食における地産地消率を聞きたい。給食センター調理室内の衛生管理と環境整備について改善計画を伺いたい。調理機器の入れ替えと民間委託の方針について、総合的な判断を示してほしい。

【答二】学校給食の年間総材料費に占める留萌管内産の地元食材購入割合は四十一%。今年度設置した「学校給食センター運営委員会」の意見をいただき、食育の推進とともに地元食材の活用を図っていき

たい。手洗いや場の増設や専用容器の不足など道教委から指導・助言された内容を今年度策定予定の設備更新計画に反映させ、計画的に改善を図りたい。調理室内の労働環境の改善も図るため、財政局と協議

していく。

調理機器の入れ替えに一億二千万円を見込んでいる。政策調整会議、庁議を経て調理機器更新計画を策定する。機器入れ替えが終了する時期を見定め、民間委託を検討したい。

村上 均 議員 (留萌公明党)

【問一】高齢者福祉政策について二、防災・減災対策について

【答一】第五期高齢者保健福祉計画・介護保険計画はおおむね計画通り進んでいる。地域包括支援センターでは介護予防事業として、基本チェックリストの実施やピンピンからだ広場など、包括支援事業では、介護予防ケアプランの作成や総合相談支援などに取り組んでいる。今後も介護予防事業に重点を置いた施策に取り組むたい。ケアシステムについては、全ての高齢者を対象に要支

援、要介護状態になることを防止するためのサービスや要介護状態になった場合でも、できるだけ住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう支援したい。

【問二】あの一三・一一東日本大震災から三年三カ月を迎える。そこで災害時における留萌市の情報伝達や防災行政無線の聞き取りづらい状況対応策として、電話による「自動音声対応」についての考えと災害から弱者を守る対策の進展状況について伺いたい。

【答二】災害情報を市民に伝えることが避難行動の迅速化と市民の命を守ることにつながり、より確実に迅速な情報伝達に向けて、全国の取り組み状況を参考に研究したい。要援護者対策として今年度もモデル地区事例を参考に十町内会で個別計画の作成を予定している。



▲防災行政無線

留萌消防組合 議会 報告

平成二十六年留萌消防組合議会第一回臨時会が、六月十九日に開催された。

はじめに管理者である市長から行政報告が行われ、その後、消防長から「平成二十六年度留萌消防組合補正予算(第一号)について」「工事請負契約の締結(消防救急デジタル無線機器整備工事)」「北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について」「北海道市町村総合事務組合規約の変更について」、管理者から「留萌消防組合公平委員会委員の選任について」の説明があり、全ての議案を可決・同意した。

また、臨時会開会前に開催された全員協議会において、消防庁舎建設に係る進捗状況、消防救急デジタル無線整備に係る進捗状況の報告を受け、共通認識を持った。庁舎の建設およびデジタル化は、留萌市民の皆さんの安心安全を守る常備消防の要となる事柄であり、今後も議会として対応していく。

議会活性化推進特別委員会からの報告

「市民にわかりやすく、開かれた議会を！」条例の施行日は十月一日から

留萌市議会基本条例が制定

六月二日に開催した、第三十六回市議会活性化推進特別委員会で、条例内容の最終確認をし、その報告を六月三日の本会議で行った経過を踏まえ議員全員の共通認識の基、理想を求めた真摯な議論の成果品として、前文および八つの章(全二十五条)の構成からなる「留萌市議会基本条例」を提案するに至った。



▲留萌市議会基本条例が起立採決により全会一致で可決

市民との約束の最高規範

提案理由は、地方分権の進展に伴い、地方自治体の自己決定権や、責任の範囲が拡大するなか、二元代表制の一翼を担う議会の役割や責任は、大変重要なものとなってきており、こうした時代の要請に応え、「市民にわかりやすく、開かれた」として、「市民とともに歩む」議会の実現を目指し、議会のあるべき姿を定めた最高規範である「市民との約束」として、この条例を制定するものである。以上の提案理由により、六月十日、本会議において起立

条例制定に併せた改革

採決により全会一致で可決した。

- 条例の主な内容は、
・ 議員の活動原則
・ 市民参加
・ 議決事件の拡大
・ 政策の立案及び提言
・ 予算の確保
・ 政治倫理
・ 危機管理
・ 検証及び見直し
である。

議会基本条例制定に併せた議会の改革は、「議会と市民の意見交換会の実施、新たな議事ルール(確認の機会、議

施行日に向けたPR

議会基本条例が制定されたことは、議会として、議員と市民、新しいステージに上がったことから、この条例を議員一人ひとりが、しっかりと意義を確認し、日々の活動に臨むことが大切である。条例の施行日は、本年の十月一日なので、その日に向けて条例を、いかに市民にPRしていくのかも、重要であることを認識し、次の取り組みを進める。

- ①議会基本条例を理解していただくために、説明資料を町内会、公共施設、諸官庁などへの配布
②市が主催する町内会長会議で説明
③議会ホームページでPR
④議会広報誌の活用
⑤地元新聞の活用
⑥市の出前トークにメニューを登録
⑦エフエムもえるの活用

留萌南部衛生組合 議会 報告

留萌南部衛生組合議会(留萌市・増毛町・小平町)は平成二十六年五月十五日に、増毛町御料にある最終処分場の視察を行った。

昨年の倒壊事故から一年遅れの供用開始であり、待ちかねていた議員たちは、維持管理業者と組合からの説明の後、今後の課題などについて協議を行った。今後十五年間の使用を目的に現状のごみ搬入状況や、想定される諸問題について質問があった。施設内を見て回り、最初に目に飛び込んできたのはごみ処分場内に飛び交うカラスの多さであった。今後、早急に善処するよう求めた。

また、落雪事故の対策として六月に工事が予定されている雪止め金具の設置などについて質問があり、事務局に説明を求めた。今後も引き続き、雪止め金具設置後の状況なども注視していきたい。

各常任委員会からの報告

第1常任委員会報告

農業と福祉の連携で6次産業化

5月23日に行われた常任委員会に、農業と福祉の連携による6次産業化乾燥ラインの整備について、所管の市・農林水産課から報告が行われた。

この事業は、平成24年から行われている農水産物乾燥加工試験事業の結果から、一定の成果が得られた「切干大根」の商品化に向けた事業である。特に農業と福祉の連携や地域農業の振興、障がい者の新たな就労活動支援などの特色がある。また、小学校の閉校で寂しさの増す幌糠地域で旧幌糠中学校の施設の一部を整備して行うなどこの事業への期待は大きい。

しかしながら、大きな予算を伴う事業でもあり、生産コストや技術あるいは価格や流通の問題、障がい者の就労など多くの意見が出された。6月の議会に提案され、今秋の生産設備完成を目指しているが、設備の整備や、事業全体の進捗状況などを委員会としても注視していきたい。



▲「切干大根」の生産風景

第2常任委員会報告

温水プール「ぶるも」の一部再開

平成21年度から休止していた留萌市内の温水プール「ぶるも」が、7月から学校授業を主体に一部再開する。5月28日、常任委員会で視察し、設備工事の進捗状況や今後の補修作業と清掃スケジュールなどについて説明を受けた。

温水プール「ぶるも」は平成13年にオープン。新・留萌市財政健全化計画の中で、年間約5千万円の維持経費が見直しの対象となり「休止」となっていたが、学校授業の課題などを優先的に解決するため、平成26年度と27年度は学校プール授業用として一部再開し、夏季休業期間（7月25日～8月19日）は、高校生以下は「無料」、一般および高齢者は「有料」で開放することとなった。

5年間の休止だったが、予想以上に美しい現状であった。再開までにタイルのヒビ割れ部分などを補修する予定だ。



▲温水プール「ぶるも」の視察

こんなことが決まりました

第2回定例会 6月3日～10日

平成26年第2回定例会は、3日から8日間の会期で開催され、諮問1件、報告5件、議案9件、推薦1件、意見書案7件について審議しました。

【議案】

- 留萌市副市長の選任について…………… 同意
- 留萌市公平委員会委員の選任について…………… 同意
中西俊司副市長及び中野亨公平委員会委員が再任されました。
- 留萌市議会基本条例制定について…………… 原案可決
- 留萌市議会会議規則の一部を改正する規則制定について…………… 原案可決
- 留萌市議会委員会条例の全部を改正する条例制定について…………… 原案可決
留萌市議会基本条例の制定に伴い本会議に関する事項は会議規則で、委員会に関する事項は委員会条例において規定するものとして起立全員により原案可決されました。

ほか4件…………… 原案可決

【意見書案】

- 地方財政の充実・強化を求める意見書…………… 原案可決
- ほか6件…………… 原案可決

平成25年度 留萌市議会議員出欠状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日

	議員名	燕	笹本	鶴城	川口	珍田	坂本	野呂	坂本	小野	対馬	天谷	村上	菅原千鶴子	野崎	村山ゆかり	松本
		昌克	牧司	雪子	宏和	亮子	茂	照幸	守正	敏雄	真澄	孝行	均	鶴子	良夫	ゆかり	衆司
開催回数	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席	欠席									
定例会	17回	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-	17-
臨時会	8回	8-	8-	8-	8-	8-	8-	7 1	8-	8-	6 2	8-	8-	8-	8-	8-	8-
特別委員会	予算審査	4回	4-	4-	4-	4-	4-	3 1	4-	4-	4-	4-	4-	4-	4-	4-	4-
	決算審査	3回	3-	3-	3-	3-	3-	3-	3-	3-	2 1	3-	3-	3-	3-	3-	3-
議会運営委員会	25回	24 1	24 1	24 1	24 1	24 1	20 5	20 5	20 5	20 5	24 1	24 1	24 1	24 1	24 1	25 -	25 -
常任委員会	第1	13回	13-	13-	13-	11 2	13-	13-	13-	13-	12 1	13-	13-	13-	13-	13-	13-
	第2	18回	18-	18-	18-	17 1	18-	18-	18-	16 (公)	18-	18-	18-	17 1	18-	18-	17 1

※(公)は公の要件 ※☐は出席対象外の会議 ※委員会は開催状況により出席回数が異なります

委員会名	開催回数	構成委員
議会広報特別委員会	20回	菅原・鶴城・燕・川口・天谷
議会活性化推進特別委員会	15回	全委員16名
・議会基本条例策定小委員会	24回	村上・村山・珍田・野呂・坂本守正・対馬・野崎・松本
・組織運営小委員会	10回	菅原・坂本茂・燕・笹本・鶴城・川口・小野・天谷
監査委員	41回	珍田
全員協議会	3回	全議員16名
南部衛生組合議会・協議会	14回	菅原・笹本・対馬・村上
消防組合議会・協議会	8回	松本・燕・坂本茂・野呂・天谷

議会の傍聴(見学)について

議会は本会議、予算審査特別委員会・決算審査特別委員会などの傍聴ができます。

詳しくはお知らせ掲示板・ホームページなどをご覧ください。